



常澄中だより

自立貢献
常中魂

常に 正しかれ.豊かなれ.気高かれ

平成29年7月20日

NO: 19

〒311-1114 水戸市塩崎町1016

Tel : 029-269-2116

E-mail : tunezumi-j@magokoro.ed.jp

いよいよ本格的な夏を迎え、このところ暑い日が続いていますが、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。生徒たちは、一つ一つの教育活動に熱心に取り組み、1学期の学校生活を全員無事に終えることができました。保護者の皆様、地域の方々のご支援、ご協力に感謝申し上げます。
今日の終業式で「意志あるところに道は開ける」というお話をしました。、「どんな困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば、必ず道は開ける。という希望と勇気のわく言葉です。苦しいことがあっても努力をあきらめず、38日間の夏休み一日一日を大切に、自分の目標に向かって努力してほしいと願っています。

認知症サポーター養成講習会

7月14日に1年生が、認知症サポーター養成講習会を受講しました。今後、中学生がサポーターとして協力できるように毎年行っているものです。

1年 石川 葉奈 さん

私は、認知症サポーター養成講座に参加して、改めて認知症のことを詳しく知り、接し方も学ぶことができました。また、認知症の人の例を演劇で説明してくれたおかげで詳しく知ることができました。どんな人でもなる可能性があること、周りにもそのような人がいた時に助けてあげられるようにしたいと思いました。



第32回水戸市少年の主張大会

3年 白井 和可奈 さん

私は、少年の主張大会に参加していい体験ができたと思いました。自分の考えをたくさんの人に伝えることができよかったです。少しでも私の作文を聞いて目標を立て、あきらめずに努力する人が増えるといいと思いました。また、他の人の主張を聞いて、私も心を動かされました。他の人が実践していたことを私も実践し、それを周りの人にも広めていきたいと思います。



1年 一家 葵 さん

初めての大量の人の前で自分の意見を発表して、とても緊張し足の震えが止まりませんでした。でもめったにない機会なので、このような体験をすることができてうれしく思いました。また、主張作文の発表を聞いてとても勉強になったので見習いたいと思いました。



3年生家庭科保育実習 保育所・幼稚園訪問

3年 山浦 涼平 さん

僕は、幼稚園児と触れ合うことによって、子どもの時の記憶がよみがえりました。僕達と遊んでいる時の楽しそうな顔や、友達とじゃれ合っている姿を見ると本当に懐かしく、命の大切さを感じたとても有意義な時間となりました。



3年 黒羽 一馬 さん

僕たちは保育園訪問をして、小さい子どもたちとたくさん触れ合うことができました。たくさん遊んで、笑ったりしながらも発達途中の子どもたちの面倒を見ることの大変さを感じました。この経験を将来に生かしたいと思いました。



3年 関野 こゆ さん

私は保育園訪問に行つてすごくいい経験ができました。最初は、仲良くしてくれるか不安でしたが幼稚園児から手を握ってきて、「鬼ごっこしよーよ。」と声をかけてくれてとてもうれしかったです。幼稚園児はまだ小さいから、できることも少ないと思っていましたが、小さなお化け屋敷を作ったり、片付けもできてすごいと思いました。この訪問を通して、今まで以上に子どもが好きになりました。



3年2組 住谷彩奈さん

私は、修学旅行を通して、学んだことがたくさんあります。一つ目は友達の性格を知るには、一緒に過ごすことではなく、一緒に暮らすことがいいということが分かりました。同じ教室にいてもその人の性格はわかりませんでした。同じ部屋で生活してみてその人の性格がとてはつきり見えるようになり、話す機会も増えました。二つ目は、班長と班員の支え合いの大切さです。私は今まで班長を一度も経験したことがなく、班長の大変さを知りませんでした。しかし、班別活動の時に班員を気づかたり、ルートを確認したりと作業することがたくさんあり大変でした。三つ目は働くことの大切さです。水族館での飼育員のペンギンへのえさやりを見ました。飼育員の方はペンギン一羽一羽の年齢や体調によってあげるえさの量が書いてある名簿をもとに調整していました。私はそれを見たとき今まで働くことを軽く見ていたなと思いました。修学旅行で学んだことは、とても大切なことでした。